廿七日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷所　福島縣石城郡平町新舘町十四　磐城時報社活版所
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十五　磐城時報社
發行所
一部金武錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

三阪、澤渡村長は結局改選せん
三派入り亂れて紛糾
候補に數へらるゝ人々

三阪、澤渡組合村長田子英吉氏は明治二十二年八月三十日村長に就任して以來四十年間村治に盡瘁し來つたが去る六月一日で滿期となり退職し目下村長欠員中で助役佐藤倉造氏が事務の決裁を行つてゐるが早晩村長選擧を行はねばならず、同村有志間では後任村長物色中であるが、田子氏再選論者に對し強硬に改選を唱ふるものありその間に介在して村長絕對不必要を叫ぶもの等三派に分れ紛糾を來し此程前赤井第一校長熊谷長一氏等で開いた村長選擧の村會も流會にある。

改選論者の主張は過般縣議戰に於て變節した事及び役場に出勤せざる事等で、之に對し再選論者は全國的に珍らしく町村制實施以來の村長であるから御大典まで就任させ度いといふにあり、兩者の勢力を見るに改選派が遙かに優勢を示してゐる。而して後任候補の人物としては現助役佐藤倉造氏、前收入役永山久助氏、富豪家大竹治右衛門氏、收入役草野盛氏、元收入役永山善次郎氏、相談役加藤丈夫氏、山崎吉平氏、赤津庄兵衛氏、諸橋久太郎氏、松崎松治氏等三派に分れ紛糾を來し此程前赤井第一校長熊谷長一氏等で開いた村長選擧の村會も流會にある。

山の手方部の鹽況
今が上簇の盛り
近年にない好成績
共同出荷を希望

石城郡に於ける春蠶は大体に於て成績で永戸村のみで三千貫の收て出廻りを終え市場等も閉鎖す爾、同方面養蠶家はホク〳〵のるに至つたが、山の手地方永戸態である、出廻りの最盛は七月箕輪、三阪、波澤方面の蠶況は二、三日頃であらうと豫想され目下上簇の最盛中で二十七日にはゐるが、養蠶家の大部分は共は殆んど全部上簇するであらう同出荷を希望してゐるので成田と見られてゐる、二十六日郡養技手も之について奔走してゐる蠶同業組合成田技手が實査した處、本年の成繭は近年にない好

弓術優勝者
石城郡磐崎村三井炭礦では廿三日の山神祭に武道大會を催した結果弓術優勝者左の如し。

▲一光（小名濱）齋藤義定▲二光（平）大和田忠吉▲三光（湯本）長瀨留八▲三人拔吉田豊吉、渡邊源作

四倉繭市場
二十七日閉鎖
四倉繭市場二十六日の取引數左の如し。

△黃繭　百三十二貫五百十匁、八百二十四圓九十八錢
△白繭　五百十九貫六百九十匁、三千六百五十五圓五十二錢、計六百五十二貫二百匁、四千四百七十六圓五十錢
△黃繭　最高六圓四十八錢、最低五圓七十一錢、平均六圓十七錢
白繭最高七圓三十錢、最低六圓十錢、平均七圓三錢

十三日開場以來の累計一萬六千二百七十四貫七百七十匁で二十七日限り閉鎖する事になつた。

新川に飛び込み
溺れた幼兒を救ふ
勇敢な黑澤茂三（十六）君

平町紺屋町四八長助三男黑澤茂三（十六）は二十五日午後四時頃磐城訓盲院前新川で魚釣り中平町材木町健助長男吉田浩平（四ツ）が遊戲中誤つて增水してゐた河中に轉落し押し流されて溺死せんとしたのを見て河中に飛び込み救助したので平署では目擊してゐた紺屋町青年分團長關内喜久次郎氏の届出でにより人命救助で表彰方を縣に申請した

平銀行
重役會
平町青年訓練所では來る七月一日二週年を迎へるので在鄉軍人分會の應援を得て當日所生、卒業生等全部が隊伍を組んで平町を廻り宣傳ビラを撒布する事になつた。

平青訓所で
二週年紀念

平銀行では二十六日午後一時から磐城銀行との合併問題に關し日行員が態々平町から出張して重役會を開く筈であつたが延期し二十七日午後三時から開會の豫定で出席者は左の如し。

△頭取山崎與三郎△取締役高岡唯一郎、木村清治、堀江正直△監査役吉田禮次郎、新田善次郎△相談役加藤丈夫、山崎吉平、永山和平、赤津庄兵衛、諸橋久太郎、松崎松治

毎日平銀行員が
富岡迄出張

磐城銀行が休業するに至つたので双葉郡富岡町に於ける縣支金庫並に福島貯蓄銀行の取扱ひは平銀行に依頼されたが、富岡町には平銀行の支店がないため毎日行員が態々平町から出張して事務を取扱つてゐる。

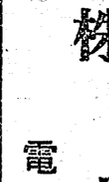
軍人に弄ばれて
二兒を產んだ女
遂に私生兒認知訴訟
白面稻荷は書類送檢

石城郡內鄉村綴材木商豫備陸軍三等騎兵少佐沼田濱之助（四三）の甘言に乘り三人の子供を產みおとした秋田縣雄勝郡生れ藤鄉キイ（二五）は過般濱之助の仕打ちが酷いと平署人事相談所へ泣き込み大騷ぎを演じたが二十四日いよ〳〵たまりかね濱之助を相手取り私生兒認知の訴訟を平區裁判所まで提起した、尙ほ右事件についてキイを脅迫した平町舊城跡白面稻荷神社行者青木ツルは平署の取調べを受けこの程一件書類を平檢事局に送附された

磐城育英會
新貸費生
本年はなし

磐城育英會では五月中に評議員一、各校長短評　澤渡校長八卷胞太郎氏は個人としては親切會を開く筈であつたが、資金一萬三千圓を預けておいた磐城銀

預金の貴買に應じます
取扱ひは親切迅速



平町　仲田町
株式會社
電四六五番店

哄堂氏を招き
思想講演會

四倉町報國會では七月一日午後三時から同町小學校に於て加藤哄堂氏を招き思想問題講演會を開くと。

子鍬倉神社
遷宮式

目下新築中の平町縣社子鍬倉神社の上棟式は來月十六日擧行し遷宮式は今秋行ふ事になつた。

三阪、澤渡通信

丁寧の人なるも校長としては部下の統御の才少く校風は亂れつゝあり。上三坂校長菅川健三郎氏は圖書に趣味を有する人一方の村民より排斥云々の聲あるも概して良校長として賞められつゝあり。中三坂校長蛭田三郎氏は才智に長けたる人、赴任早々村民を動かして大校舍を計劃し目下建築中なり。下三阪校長野木末吉氏は無言實行の人二十年も同一校に勤續し村民より一つの排斥の聲を聞かず誠に德の高き敎育家なり。差鹽校長吉田正雄氏は熱の人、腕の人、運動家として信任あり昨年赴任早々より校舍の大修繕、兒童の風儀改善等をなして賞讃さる。前校長草野氏（廿年勤續）崇拜家よりやりすぎるの評あるもそれだけ能率を上げつゝあり誠に目出度。

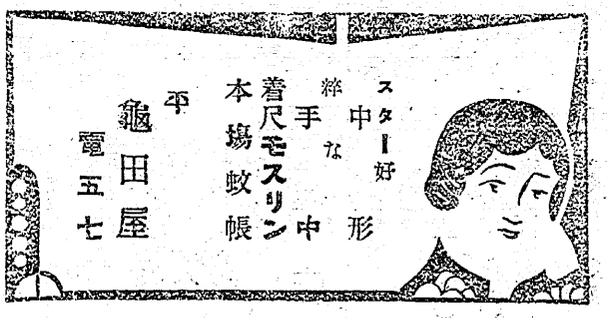
二、青年訓練所　各所に開く如き出席歩合不良を耳にせず生徒よく出席して修養につとめつゝあり本年合格者二十二名誠に農村靑年としての誇なり

三、巡査石井耕兒氏は一昨年赴任せし方なるが公平にして親切而も平民的なる良警官として信望あつし。

四、各小學校にては六月十八日より七月一日まで十四日間農桑休業をなす。

五、蠶況　目下第四齡にて成育頗る良好なり。

六、農況　大体田植も結了して蠶にのみ專心する狀態なり。



早慶野球戰（二）

東京にて　K生

橋戸信老が「もうさういつてもいゝ位、自分らの耳朶をうつ「エスハシドは古いのである」何とか野球術を書いてからも一昔以上にもならう、同老が早大のグラウンドに俊拔を誇り、事實、その手腕と球格において第一人者であつた風貌には不幸接し得なかつた中學は入り立ての筆者、而も中學生としてし新入早々のボールチヤンとして、スパイクのつかない、足袋跣で一壘を守つてゐた自分には、野球の神樣みたいにエスハシドが響いたのである、彼のペンネーム頑鐵が象徴するが如く手と体軀で遊撃を守つた以上、彼のドツシリとした球格が立派に存在し、今日の彼が東京日々の客員として、日本一の野球記事を物してることは、或は同社の運動課を牛耳つてることは蓋し當年の彼からすれば理の赴く處であつたかも知れない。

そして彼の書く野球記事は、ちよつと捨て難いうま味を含んで文章からしてもなか〳〵にねれたものである。惡くすると單調平板に流れ勝のボール否運動記事をうま〳〵と守り育てゝ、それのみとしても一つの價値と新機軸を切展いてゆく努力がみえて讀者としては受けること勿論である。過般も戸塚の球場萬余のファンの中で「新聞は東日の記事だよ」といつてゐた。無論、彼等はボールの記事をさして嗤いてゐたのだ、何かしら新味をみせようとしてゐてんつけ全体の戰跡批判を小見出しつきで個條書きにし、次いで當日の實戰記錄を載せる事や、後者を先にして、全体の批判を後にゆる〳〵とする心の構へ方など、それ相應に、一つの強いエフエクトを殘してることは流石と首肯せしむるに充分である。彼の批判は記事通りに懸値なく早慶一たゞ例にとるーいづれの側からみても全部が承認されていゝ位の貫祿を包含してゐる、正に天下逸品である、筆者などは繰返し彼の記事を愛讀してゐる段々ウマ味が出てきていゝ、これは主としてボール記事における彼に就いてであるが、さて、筑波西の一中學生、イヤ拙い一壘手であつた昔の筆者が、どうした廻り合せか後年、早大を出てから彼の下に記者として遇されようとした記憶を語らうーそれは到々自分の臆病から成りそこねて了つたがそれ以來、彼に對する情誼の厚さを感じてゐる。頃はーと改まれば、大正五六の交か、それとも七八か、世は大本教の長髪がぬらりくらりと丁度この學者のよれ〳〵の文章のやうに天下の何分の一かの座席を貰つてゐた頃だ、ある有名な新聞社に一つのレボリウーションが起つて、籍をおくとある名士が關東の都をさつて、大阪は活字と商業の都市に、別天地を造つた、彼の新陣營は、その太本教の長髪よりも天下に喧傳せられ滔々としてその麾下に蝟集する繁昌を呼んだのであつた、そして軍用金は何處から出るのか、兎にも角にも、その頃何處の社にゐたか、この語らうとする、エスハシドは、都を下つていつた、無論重要な椅子を與へられたのであらう彼は東京支局詰めの運動部長として、幕僚を集めかけてたのである。

驚いた!!!

こうまで安いとは

加納活版所の印刷物

平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話六八番

胃腸
二十二指腸虫病
淋病
婦人病
皮膚病
専門
内科
電話七〇一
平南町
松村病院

鳥料理
うなぎ
蒲焼
平町南町
魚栄
電話四二四番

△共存ト共榮
△簡易ノ金融
△趣味ノ貯蓄
△誠意ト堅固
磐城無盡會社
△縣内
△主ルル所ニ取扱所アリ
△何時デモ申込下サイ
△絶エズ當方ヲ募リマス

電話開通
七〇五番
電氣機械器具、電線絶線料、モートル、トランス、通信機械器具、其他器具修繕
三瓶電機商店
平町南町（磐越銀行向）

學生服
厚本霜降小倉
小學生向（金壹圓ヨリ）
中學生向特製（金壹圓四十五錢マデ）
（金貳圓四十錢ヨリ）
（金參圓マデ）
なかや洋服店
平二丁目（電二〇三）

氷水
始めました
アイスクリーム・ミルクセーキ
其他清涼飲料物一式（電力應用）
夏期中蒲鉾を休みます
出前迅速
藤市
電話三〇五

優良なる
洋服石鹸
殺菌防臭の効絶大なり
代理店
開内藥局
平町四丁目（電話四〇番）

◎良品廉賣に勝る商略なし!!!
磐城セメント會社特約店
和洋銅鐵金物問屋
久釜屋商店
磐城平電話（九一三九番）
◎確實敏捷は久の生命なり!!!

家傳
神皇散（一週間金壹圓）
◎血ノ道◎產前、產後◎雜產、流產ノくせ◎古血、惡血ノ滯◎子宮、寸白、腰、腹、冷へ◎男女頭痛、目眩、立眩ミ◎上逆◎腦神經不眠症ニ大効ヲ奏ス。
代理店平研町
木野藥局

咳止の妙藥
オピール錠
平町一丁目【電話四六二番】
特約店
大平屋藥店

不思議な靈効を有する
養命酒（むしのエキス）
半ケ月分一・五〇
一ケ月分二・〇〇
甘味にして頗る芳香飲み易し眞に補血强壯劑の高級品也
平町五丁目角
代理店
山野邊藥局

診療開始
外科
專門
花柳病科
平町六丁目橋際
木村外科醫院